



連合愛知安全衛生センターだより

愛知県勤労者安全衛生研究センター 〒456-0002 名古屋市熱田区金山町1丁目4-18 ワークライフプラザれあろ 3F
TEL(052) 684-0003 FAX(052) 684-0303 連合愛知ホームページからも閲覧できます <https://anzen0003.rengo-aichi.or.jp/>

令和7年度 年末年始無災害運動

「年末」感謝の総点検 「年始」も笑顔で 無事故の発進

実施期間：2025年12月1日～2026年1月15日

年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるよう、事業場等の取り組み促進を図る趣旨で、1971年から厚生労働省の後援のもと中央労働災害防止協会が主唱する運動で、本年で55回目を迎えます。

年末の安全衛生 チェックリスト

主なチェック項目	安全衛生上のポイント
点検・修理時に気をつけたいポイント 一齊に設備を停止して点検や修理などを実行する際には、はさまれ・巻き込まれなどのリスクが高まります。	
<input type="checkbox"/> 事前に作業計画書を作成しているか	事前に作業計画書を作成することで、事故を防ぐことができます（計画書の項目は本書5ページを参照）
<input type="checkbox"/> 事前にリスクアセスメントを行っているか	リスクアセスメントを行い、作業の危険性を明らかにして、その結果を作業計画書に反映することで、安全性を高めることができます
<input type="checkbox"/> 作業開始前にミーティングを開いて、計画・手順を周知しているか	作業を開始する前には、ミーティングを開いて、作業内容や計画を周知・確認しましょう（項目は本書5ページを参照）
<input type="checkbox"/> 設備機器の電源はオフになり、完全に停止したことを確認したか	作業終了に必ず電源スイッチやブレーカーを切り、回転部が完全に停止していること、残渣が抜けていることを確認します
<input type="checkbox"/> 起動装置に施錠をしたか	複数人で作業をする際は、複数の鍵で施錠し、各作業者が自分のキーを持ちます（ロックアット）
<input type="checkbox"/> 操作盤に「操作禁止」などの表示をしたか	他の人が誤って電源を入れないよう、「点検中のため操作禁止」という表示を操作盤の近くに分かりやすく掲示します
大掃除で気をつけたいポイント	
大掃除は、普段とは違う場所を、普段とは異なる方法で行うため、安全な行動をとってしまうことがあります。	
<input type="checkbox"/> 作業空間の明るさを確保できているか	作業場所、通路、階段などは、補助照明などを活用して、足元や天井裏の安全が確認できる明るさを確保しましょう
<input type="checkbox"/> 無理な姿勢で腰を痛めることがないよう、正しい姿勢を心がけているか	前かがみや中腰で作業を続けると、腰に負担がかかります。踏台を利用したりするなど、負担の少ない姿勢をとるようにしましょう
<input type="checkbox"/> 高所の掃除は、墜落・転落防止対策をとっているか	足場の確保、適切な用具や墜落防止対策などを保護具の使用などで、墜落・転落防止対策が欠かせません
<input type="checkbox"/> 使用する洗剤類の危険性・有害性を把握しているか	必ず使用前にラベルやSDSを確認し、適切な使用方法や、保護具の着用の必要性を確認しましょう
繁忙期のコミュニケーション	
忙しさでコミュニケーションがおろそかになりがちな時期だからこそ、いつも以上に丁寧な対応を意識しましょう。	
<input type="checkbox"/> 丁寧なあいさつをしているか	「おはようございます」「お疲れ様です」といった言葉に、「今日は冷えますね」など一言添えると、相手に心配を持っていることが伝わります
<input type="checkbox"/> 業務の伝達は、5W1Hをはっきりと伝えているか	「なるべく早く」などの、人によって解釈の変わるものや、あまり表現は使わないよいようにしましょう。 △「あれの件、きちんとまとめて、なるべく早く返して」〇「2月の会計表は、過去3年の実績のデータを入れて、来週の営業までに戻してください」
<input type="checkbox"/> 忙しいときの報告・相談の方法を工夫しているか	上長が忙しいときにトラブルが発生し、報告や相談が遅れてしまう、大事なこともあります。メモやメールで先に要點を伝えておくなどの工夫をしましょう

年始の安全衛生 チェックリスト

主なチェック項目		安全衛生上のポイント
作業再開時に気をつけたいポイント 休止期間中には、機械設備に何からかの変化・異常が生じていることがあります。		
<input type="checkbox"/>	事前に作業計画書を作成しているか	事前に作業計画を立てることで、事故を防ぐことができます(計画書の項目は本書5ページを参照)
<input type="checkbox"/>	事前にリスクアセスメントを行っているか	リスクアセスメントを行い、作業の危険性を明らかにして、その結果を作業計画書に反映することで、安全性を高めることができます
<input type="checkbox"/>	作業開始前にミーティングを開いて、計画・手順を周知しているか	作業を開始する前には、ミーティングを開いて、作業内容や計画を周知・確認しましょう(項目は本書5ページを参照)
<input type="checkbox"/>	機械設備の潤滑状態や油圧はチェックしたか	冬季は、低い気温による影響などで、何からかの異常が機械設備に生じているかもしれません。潤滑状態や油圧など、重点項目を絞って点検を行いましょう
<input type="checkbox"/>	電源投入時、関係部署への連絡・合図はできているか	複数の部門の人々が集まつて作業する場合は、事前に関係部署と連絡調整を行い、責任者とのすり合わせを行いましょう
<input type="checkbox"/>	機械設備の起動時に異常は見られないか	発熱や異音などが見られる場合は、作業を中断した上で管理監督者に報告し、安全な作業の進め方を関係者で協議します
健康状態の確認		
長期休暇の際は生活リズムや食生活が乱れがちで、休眠明けにその影響が心に現れることがあります。		
<input type="checkbox"/>	寝不足の様子はないか	寝不足の様子が見られるメンバーには、「休眠の間に就寝・起床時間が乱れていないか問い合わせ、生活リズムを整えることを促しましょう
<input type="checkbox"/>	アルコールのとりすぎの様子はないか	二日酔いなどの様子が見られるときは、本人の自覚症状を問い合わせ、業務に支障がないかを確認しましょう
<input type="checkbox"/>	メンタルヘルス不調の様子はないか	表情や姿勢、動作などから、いつもと違う様子に気づいたら、「気がかりなことがあるね」や「結構に相談するよ」と声をかけ、まずは話を聞くことから始めましょう
感染症対策のチェック インフルエンザなどの感染症は、例年1～2月ごろがピークとなっています。職場と家庭での感染症対策を呼びかけましょう。		
<input type="checkbox"/>	熱っぽいなどの体調の異変はないか	熱っぽい、身体がだるい、喉に違和感があるなどの体調の異変を報告するよう促しましょう
<input type="checkbox"/>	手洗い・手指の消毒をこまめに行っているか	職場でも家庭でも、朝の出勤運動や食事の前後に、手洗い・手指の消毒をこまめに行いましょう
<input type="checkbox"/>	バランスのよい食事をとっているか	免疫機能を高めるためには、栄養バランスのとれた食事を、規則正しい時間にとることが欠かせません
<input type="checkbox"/>	睡眠をしっかりとっているか	質の良い睡眠は、心と身体のバランスを整え、免疫機能にも良い影響を与えます



新年のご挨拶

日頃は連合愛知安全衛生センターの諸活動に対し、ご理解とご協力をいただいておりますこと、心から感謝申し上げます。愛知県下における労働災害による死亡者数、休業4日以上の死傷者数は本年、減少傾向に転じています。しかしながら愛知労働局が掲げる「第14次労働災害防止推進計画」の目標達成に向け、「安心して働くことができる職場環境づくり」を進めることは急務です。

また、地球温暖化の進行に伴い、熱中症による死亡災害が増加傾向にあることから、本年6月から労働安全衛生規則が改正され、職場における熱中症対策が義務化されました。

各構成組織におかれましても、適切な対策が行われているか注視をお願いいたします。

谷口理事長

連合愛知安全衛生センターは、「ひとりの被災者も出さない」という基本理念のもと、「労災の未然防止と健康づくり活動の推進」などの取り組みを通じ、安心・安全な職場環境づくりを進めるとともに、死傷病災害の撲滅に向けた取り組みを強く推進します。

2026年の年頭にあたり、各構成組織におかれましては引き続き、安全衛生センターの諸活動に対するご理解とご協力をお願いするとともに、働く全ての仲間の安全と健康を祈念し、年頭の挨拶いたします。

新任理事挨拶

松田 理事（愛知製鋼労働組合 執行委員長）

■ 安心して働き続けられる職場をめざして

弊社は、トヨタグループで唯一の素材メーカーとして、社会に不可欠な素材となる特殊鋼・ステンレス・形鋼に加え、最先端の磁性材料やセンサー関連製品まで幅広く手掛け、「ものづくり」の基盤を支えております。

生産現場には、高温環境、重量物の取扱い、大型設備の稼働など、多くの危険源が存在しております。そのため、設備改善や教育はもちろん、一人ひとりが危険を察知し、仲間と声を掛け合う文化づくりが欠かせません。労使が同じ方向を向き、「安全を第一に」取り組むことこそが、企業の継続的な発展につながる考えています。

すべての仲間が安心して働き続けられる職場をめざし、日々の作業の中で「危ないかもしれない」という小さな気づきを大切にし、災害のない職場づくりを共に進めていきましょう。ご安全に。



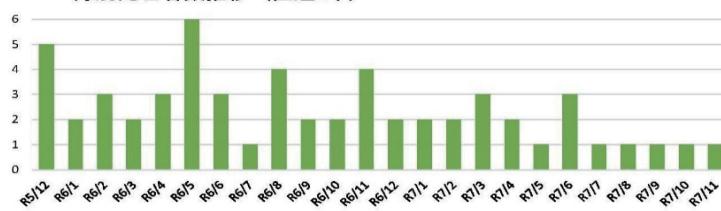
松田理事

愛知労働局管内死亡災害発生状況（令和7年12月1日 現在の速報値）

※()内は交通事故による死者数で内数である。

業種	年別	令和7年速報値	令和6年同時期(速報値)	令和6年確定値
製造業		5	5 (1)	8 (1)
食料品製造業				1
化学生工業		1		
鉄鋼・非鉄金属		2		
金属製品			1	1
一般・電気・輸送用		1	2 (1)	3 (1)
その他の		1	2	3
建設業		4	7 (2)	9 (2)
土木工事業		2	1 (1)	2 (1)
建築工事業			3	3
その他の		2	3 (1)	4 (1)
陸上貨物運送事業		4 (3)	2	3 (1)
商業		2 (2)	7 (6)	9 (6)
卸売業		1 (1)		1
小売業		1 (1)	6 (5)	7 (5)
その他の			1 (1)	1 (1)
清掃・と畜業		1	2	2
上記以外の事業		2 (1)	3 (1)	3 (1)
合計		18 (6)	26 (10)	34 (11)

月別死者数推移（直近2年）



明るい新年
みんなで迎える

無災害



あたりまえの「行っけます」と
あたりまえの「ただいま」
どんなに誰ただしても、あたりまえは変わらない
だから私たちは、危なさと向きあう
その先の新年へ

愛知労働局 & 安全衛生センター
運動期間：2025年12月1日～31日

QRコード

ご安全に！愛知労働局が策定した、「第14次労働災害防止推進計画」（2023年度～2027年度）の中間年において12月1日現在、死亡災害18人（▲16人）、10月末現在、死傷災害5,937人（▲1,585人）と、昨年より大幅に減少している傾向にあります。

当たり前の日常を失う事が無い様、個々の安全に対する意識と自己防衛の備えをお願いするとともに、労使、行政、関係団体と連携した、安全と衛生の取り組みを通じて『ひとりの被災者も出さない』という基本理念のもと、2026年も取り組みを進めてまいります。

安全衛生センターの取り組みに、ご協力いただいている役員の皆様、全ての関係者の皆様に感謝を申し上げるとともに、2026年も引き続きご協力の程、よろしくお願い申し上げます。